



平成28年度小浜市立遠敷小学校スクールプラン

～遠敷小学校から小浜美郷小学校へ～

【本校のミッション】

21世紀社会を「生きる」力の育成

- 互いの人権を尊重し、地域とつながり、ふるさとに貢献できる児童を育成する。
- 子どもたちの人生を保証していく教育活動を創出し、結果を出す。
- 遠敷小学校から小浜美郷小学校へのバトンを、子どもの姿として責任を持ってつないでいく。

【学校経営の基本方針】

学校・保護者・地域が協働する「チーム遠敷」による学校経営

- 1 子どものために学校はある
- 2 教職員の使命感を基盤として学校がある
- 3 保護者や地域の方の理解と協力が支えられて学校がある

【保護者・地域の願い】

- 「優しい心」「正しい判断力」「豊かな感性」など、道徳性を育む学校
- 最後までがんばり抜く逞しい体力と気力を育む学校
- 人と豊かな人間関係を結べる表現力とコミュニケーション力を育む学校

【児童の実態】

- <SASA2015の結果から>
- 研究教科の算数科のみならず、全教科で県平均を上まわり、年度当初に設定した数値目標を大きくクリアできた。
- <H27 学校評価から>
- 「話し合う授業はよくわかる」89%、「脳が仏で考える」や「記憶力が高まっている」85%、「難しいことや苦しいことにも粘り強く努力している」87%、「力を合わせて取り組む活動が楽しい」93%、「自分がみんなの役に立っていると感じる」83%、「学級や学校は楽しく安心できる」87%、
 - 「学級や学校は楽しく安心できる」の否定的回答児童 13%→何らかの困り感を持ち支援を必要としている児童→本校における人権教育の重要課題

【教師の願い】

- <こんな学校を創っていききたい>
- 子どもが通いたいと思う学校
 - 保護者や地域の方が子どもを通わせたいと思う学校
 - 職員が働きがいを感じる学校

【学校教育目標】・【学校経営目標（3年後のめざす姿）】

未来への扉をひらく心豊かな遠敷の子

<めざす子どものすがた> **夢と目標を持ち** ○ **学び合うことが大好きな子** ○ **なかまとともに困難にねばり強く挑戦する子** ○ **朝から元気に、進んで体を動かす子**

【3年間の重点戦略】

人権教育を中核に据え、学校教育全体のユニバーサルデザイン化を進める中で、攻めの方策で「頭」と「心」と「体」をバランスよく鍛え、生涯にわたって学ぶ基盤となる力（学力）を育てていく。

【学校内部環境および外部環境の強みと機会を生かす戦略】

- 外部の教育資源を活かしたダイナミックな教育活動の推進
- 児童主体の教育活動の推進

【学校内部環境および外部環境の弱みと脅威を克服または転換する戦略】

- 多様性を認め合う人権教育の推進
- 人生をたくましく切り開いていくキャリア教育の推進

【H28 具体的方策】

重点目標	<夢と目標を持ち>	<学び合うことが大好きな子>	<なかまとともにねばり強く挑戦する子>	<朝から元気に、進んで体を動かす子>	<家庭・地域との連携>
	◎ <u>人の生き様に学び、自分の生き方を考える学習活動の充実を図る。</u>	◎ <u>「伝え、聴き、関わり合う学びの深化」を研究主題に、子どもが自ら学んでいく授業づくりの前進を図る。</u>	◎ <u>児童が主体となって取り組み、困難を乗り越えていく特別活動の充実を図る</u>	◎ <u>遊びの中で進んで体を動かす子どもを育てる活動の充実を図る。</u>	◎ <u>学校・保護者・地域が協働する教育活動の前進を図る。</u>
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のゲストティチャーを招いたキャリア教育講演会と人権教育講演会を毎月交互に実施するとともに、それらと連鎖させた道徳等の事前事後学習や関連活動の充実を図る。 ・校長の道徳授業を、低高別に毎月実施する。 ・「親子で学ぶ道徳」「ふるさと小浜 MIRA」事業を有効に活用した取組を進めるとともに、リサイクル「一途」との交流を継続する。 ・苦難にめげず頑張っている人の生き様に学ぶ読書活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究を充実させる中で、全員1回の研究授業を実施し、授業力をより高める。 ・総合的な学習の時間の充実を図る実践研究に全校的に取り組む。 ・特別支援教育の知見を積極的に取り入れて、学習環境のユニバーサル化を進める。 ・3ヶ月以上を継続し、家庭学習の習慣化を図る。高学年では、自主的な家庭学習の習慣化を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会組織の活性化を図り、児童が主体となって企画運営する学校行事や縦割り班活動の充実を図る。毎月の生活目標も、児童集会において児童に決めさせていく。 ・児童の発達段階に応じた困難克服体験を工夫し、6年間を見通したプログラムを作成する。 ・基盤としての学級経営の充実を図り、「居場所づくり」と「絆づくり」を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日課表に「朝遊び」の時間を設定する。活動が多様なものとなるように工夫し、併せて運動量の充実を図る。 ・はだしの広場を有効活用して、はだして遊ぶことによる健康な体づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「親子道徳」や「親子読書」等を活用し、親子で取り組む教育活動を推進する。 ・「早寝・早起き・朝ご飯」の重要性を理解する情報提供や取組を積極的に行う。 ・月1回以上の家庭での食事づくりを進める ・年5回の「マイアワード」の取組を工夫し、マイアワード利用に係る「我が家のルール」づくりを進める。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢や目標を持っている児童 90%以上 ・生き方や人権について考える道徳の学習が好きな児童 80%以上 ・キャリア学習や人権学習の内容と関連づけて自分の生き方を見つめた読書感想文を年3回以上書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動が大好きな児童 90%以上 ・話し合い活動の授業はよくわかると答える児童 90%以上 ・総合的な学習が好きな児童 90%以上 ・学年の目標家庭学習時間達成児童 80%以上 ・SASA2016 で全教科県平均以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで力を合わせて取り組む活動が楽しいと答える児童 100% ・自分がみんなの役に立っていると答える児童 90%以上 ・苦しいことにもねばり強く努力していると答える児童 90%以上 ・学級は楽しく、安心して過ごせる場所だと答える児童 95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝遊びで、体を動かして運動することが好きだと答える児童 95%以上 ・週に2回以上、はだしの広場で遊ぶと答える児童 80%以上 ・体力テストで県平均以上の項目が昨年度より5項目以上増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・就寝起床時刻やマイアワード利用のルールを作っている家庭 80%以上 ・月1回以上の食事づくりを実践している家庭 80%以上 ・学校の考えや取組がよくわかると答える保護者 90%以上 ・地域人材を年間のべ600人以上活用